



# こうさぎ1組 クラスだより 3月



2024年 3月19日  
ひかりの子幼稚園

## クラスで取り組んでいること

- \*生活習慣の見直し
  - \*こぼと組への進級に向けて...
- (身支度・食事・手洗いうがい・鼻をかむ  
靴の左右...等 再確認しあっています)

## 今月の歌

- はるがきた
- はるがきた はるがきた  
どこにきた  
やまにきた さとにきた のにもきた
  - はながさく はながさく  
どこにさく  
やまにさく さとにさく のにもさく

## 今月の聖句

「強く雄々しくあれ。」  
(ヨシュア 1:5~6)

## 今月の賛美歌

- ♪ どんな時でも
- どんなときでも どんなときでも  
くるしみにまげず くじけてはならない  
イエスさまの イエスさまの あいをしんじて
  - どんなときでも どんなときでも  
しあわせをのぞみ くじけてはならない  
イエスさまの イエスさまの あいがあるから

ついにこうさぎ1組で過ごす日も最後となりました。試行錯誤な日々もありましたが、可愛らしい子どもたちに恵まれて、本当に楽しい時間だったと感じております。1学期のクラス懇談でお話した、蜂の巣の発見から、たくさんの遊びや学びに繋がり、子どもたちと同様に私も成長させてもらえた1年でした。また、3学期には、1年の集大成としての活動をたくさん展開できたことも、きっとこの子どもたちと日々の時間を過ごしてきたからこそだと思います。今回のクラスだよりは特別号もございまして、ぜひ活動の流れをご覧くださいと幸いです。

保護者の皆様には、本当にたくさんお支え頂き、心より感謝申し上げます。進級にあたり、ドキドキする子どもたちもいると思いますが、園全体として、今後も子どもたちに寄り添って保育を行って参りますので、安心して進級をお迎えください。1年間、本当にありがとうございました🌟



### ひまわりは暑い夏に咲くんだね🌻

お部屋に連れてきたひまわりさん。若干、背が伸びたかな? と思っていましたが、ついに枯れてしまいました。「ひまわりさんが咲いたとき、お部屋より暑かった? 寒かった?」と聞くと、「めっちゃめちゃ暑かったー!」との声。とても暑い季節は何かと尋ね、夏だという声が上がったため、ようやく「ひまわりさんは、暑い夏に咲くお花なんだって」と伝えました。

だから、もうお花は咲かないという現実を伝えると、どこか納得したような雰囲気でした。時間をかけて、実際に見て、経験して学ぶことで、きっと子どもたちの中に残る学びになったのではないかと思います。

### さようなら、大好きなお家・・・

1学期にクラスの皆で作上げた段ボールハウス。他クラスからも愛されてきたお家ですが、廃材だけで作られてきたこともあり、かなり年季が入ってきました。正直、よくここまで保ってくれたと思うほどです。

こうさぎ1組も残り1か月ということで、新しいこうさぎさんがくること、こぼとさんのお部屋に持っていくことはできないことを伝え、このお家をどうするか、話し合いました。始めは皆、手放したくない気持ちが強く、「こぼとさんのお部屋に持っていいこうよ」「隠しておくのはどう?」「持って帰ったら?」「ともこ先生、持って帰ってよ」など、様々な声が上がりました。私も痛いほど気持ちがわかると思っていると、「一回バラバラにして、またこぼとさんで作ったらいじゃん!」と言ってくれる子が! すると「えー、でもまた作るのめっちゃ大変やん」と時間をかけて作り上げたことを思い出して発言する子も。

「じゃあ、忘れないようにお写真を撮ってからバラバラにして、小さくした段ボールを使って、また何か作って持って帰るのはどう? そうしたら、このお家、皆持って帰れるよ!」と私の方から提案すると、「いいねー!」「それやったら、皆持って帰れるやん!」と嬉しそうにしていたため、その方向で進めることになりました。

そして遂にお別れの日。「おうちゃん、ありがとう!」と伝えてお家を抱きしめ、写真を撮って作業開始! かけた時間と同様に、解体作業はとて大変なものでしたが、感謝の気持ちを持って、ガムテープを剥がしていきました。使える牛乳パックの柱は製作用に保存し、全員で鮮やかに塗った屋根は、画用紙を丸めてボンドで引っ付ける製作に繋げ、持ち帰ることに♪ 大好きなお家との思い出も、また別の形として持ち帰ることができたこと、嬉しく思います。

### 蜂蜜を買いに行こう!

先月、蜂蜜の作られ方を知り、蜂蜜を買いに行きたい! となった子どもたち。様々な話し合いの末、3月7日に私市の茨木養蜂園に行くことになりましたが、このように決まるまでの話し合いの流れをお伝えしようと思います。

#### ★蜂蜜を買って何をしたい?

まずは蜂蜜を買って、何をしたいのかを話し合いました。「蜂蜜クッキングがしたい!」「絵本で読んだ蜂蜜ケーキを作る!」「ホットケーキにかけよう!」「パンケーキにかけたい!」「パンにかけて食べようよ!」「そのままでも美味しいんじゃない?」など、様々な意見が出ました。全部やりたい気持ちは山々でしたが、ケーキ関係は作ることに時間が必要であること、オープンが無いことなどを伝えた上で、「3月に最後のパンの日があるから、その日ならパンに塗って食べられるよ!」と私が言う。「そうしよう!」と子どもたちも乗り気に♪

#### ★どの蜂蜜を買う?

その後、茨木養蜂園で売っている蜂蜜の種類を見せ、どの蜂蜜を買うか決めることになりました。そこで花の種類ごとに色々な蜂蜜があることを子どもたちは知ります。そんな中で一人の子が「ねえ、どの蜂蜜が一番美味しいの?」と聞いてくれたのです。確かに! と思い、「じゃあ、どれが美味しいか食べて確かめてみようか!」という流れになりました。そのまま食べたいという意見もあったため、様々な種類を買い、食べ比べを行うことに決めました。

とは言え、好きなだけ買うことはできません。買うものは3個までという枠は設け、何をかうか話し合うことに。茨木養蜂園のホームページに載っていた花の種類は5種類で、アカシア、百花、さくら、レンゲ、ハゼがありました。それに加え、アカシア、百花、ハゼの3つがまとめられた交野山セットというものも。それぞれの花の画像も見せた上で、どうするかを話し合いましたが、一人一人買いたいのがあり、話し合いは難航。「じゃあ、皆が食べたいもの、全部食べるにはどうしたらいいかな?」と交野山セットに入っているもののヒントを伝えていった結果、交野山セット、さくら、レンゲを購入することになりました。

#### ★いつ行く?

さて、次はいつ行くかです。予定がたくさん書かれている3月のカレンダーを見せ、パンの日は3月12日であることを伝えました。「それまでに蜂蜜がなかったら、パンにかけて食べられるかな?」と聞くと、「食べられない!」との回答。それなら、12日までの空いている日はいつか見ていくと、3月7日と3月11日しかありませんでした。「パンの日の1個前の日がいいんじゃない?」という声が上がりましたが、「もしその日が大雨だったら買いにいけそう?」と尋ねると「いけない」「パンにかけられなくなる」と気づいてくれました。そのため、7日に行くことにし、もし大雨なら11日に行く、ということになりました。

#### ★園長先生へお願いに行こう!

話し合いも大詰め! 「何も言わずにこうさぎ1組さんがお部屋からいなくなったら、園長先生たち、どう思うだろう?」と私が尋ねると、「悲しい気持ちになる」「びっくりする」とのこと。園長先生たちに茨木養蜂園に行きたいということを伝えに行きました。職員室の先生たちが忘れないようにと、一緒にお手紙を書く子も! それを渡し、皆で「蜂蜜買いに行きたいです!」とお話しました。「何の蜂蜜を買うの?」「買って何をやるの?」「いつ行くの?」「どこの蜂蜜屋さん?」など、様々なことを質問されましたが、子どもたちは一生懸命蜂蜜の種類を答えたり、パンに塗って食べることや、そのまま食べること、日付や、お友達の家の近くの蜂蜜屋さんであることを自らしっかりと伝えていました。

これまで、話し合いが長引いて集中が切れてきている日も何度かあり、正直あまり興味がなくなってきているのかなと、不安になる時もありましたが、この話し合いは子どもたちの中にしっかりと残っていて、楽しみにしてくれているのだと思えた瞬間でもあり、私も涙が溢れそうでした。

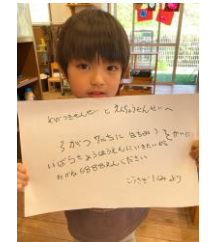
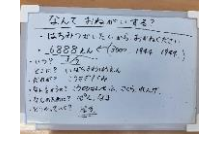
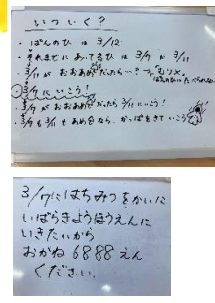
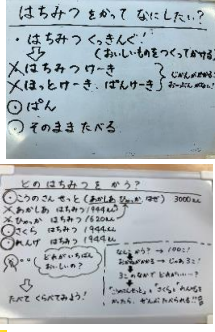
#### ★蜂蜜屋さんへプレゼント♡

こうして、本当に蜂蜜を買いに行けるようになった子どもたち。「蜂蜜屋さんにお手紙を書きたい!」「蜂蜜屋さんへ何かプレゼントしたい!」と思う子も出てきたため、「はちみつをつくってくれてありがとう」と書いたり、購入するものを書いた手紙を作りました。中には、蜂さんの絵を描く子や、折り紙でコップを折り、その中に黄色に塗った紙を切って入れ、「蜂蜜作った! これ渡す!」と嬉しそうに見せてくれる子など、様々な思いを持って、当日を楽しみにしている様子でした。

#### ★ついに茨木養蜂園へ!

そして待ちに待った当日! どきどきワクワクしながら「いってきまーす!」とバスに乗り込みました。事前にバスや店内での約束を確認していたことで、子どもたちはしっかりとルールを守ってお店に入りました。カフェの席へ通してもらい、蜂についてのお話を聞きました。そして買いたい蜂蜜について伝えると、なんとさくらの蜂蜜が売り切れ! その代わり、ホームページには載っていなかった、くりの蜂蜜があったため、くりの蜂蜜を購入しました。

その後、蜂蜜屋さんへ渡したいと持ってきていた手紙やプレゼントを渡し、お礼を伝えて帰ることに。とても優しく丁寧に接して下さった茨木養蜂園の皆様には感謝の限りです。園に帰ってきて、買った蜂蜜を園長先生に報告。そしてお部屋でもじっくり眺めて、子どもたちはとても喜んでいました!







# こうさぎ1組 クラスだより 3月 特別号

2024年 3月19日  
ひかりの子幼稚園

	あかしあ	ひんか	ほせ	れんげ	くり
におい	す、ほい	あまい	あまい	おほほ	くりの味がした
いろ	たまごいろ	きいろ	きいろ	きいろ	きいろ
さらさら？ とろとろ？ べたべた？	べたべた	べたべた	さらさら	とろとろ	べたべた
あじ	あじ	あじ	あじ	あじ	あじ



## 蜂蜜の食べ比べ！

いよいよ食べ比べの日！ 朝登園した子どもたちは、見たことがないものが置かれていることに気付きます。「なにこれ？」と興味を持ったものは、たくさんの「黄色」でした。蜂蜜の花の種類ごとに、微妙に色が違うということに気付いてほしいと思い、色の本を用意してコピーした紙を置いておきました。私が一言、「どの蜂蜜が、どの色に似てるかな？」と聞くと、子どもたちはじっと眺めて、「この蜂蜜はこれににてる！」と近い色の上に蜂蜜を置いてみる姿が見られ始めました。中には、実際に本を開けて合わせる子も！ 「これはなんていうの？」と、色の名前に興味を持つ子も現れ始めました。黄色の中にも様々な色の名前があるということに気付いてくれたこと、嬉しく思います。



続いては、集いの席で、蜂蜜の瓶を回して匂いの違いを確認してみました。「いい匂い」「酸っぱい匂い」など、様々な声が上がりましたが、私から見て、最も顕著な反応が見られたのは、くりでした。くりの匂いを嗅いですぐ、顔を背け、臭いと反応する子が多く、私も同様に匂ってみたのですが、あまり違いはわかりませんでした……。大人にはもうない、純粋な五感には刺激が強かったのかもしれない。

そんな声や反応を表にしていき、次はようやく食べる準備！どこに何の蜂蜜が入っているのかの表を、各グループに一枚ずつ置いていくと、子どもたちはよく理解して見ていました。また、スプーンで触ってみて、感触を確かめ、ついに実食！「うまーい！ おかわりは！？」「めっちゃあまーい！」「くりおいしい！」

そんな声上がる中で、（……あれ、なんだか思っていたのと違う？）という表情をする子がチラホラ……。私も実際に食べてみて、確かに若干の違いを感じましたし、美味しいとも思いましたが、やはり蜂蜜だけで食べるのは、子どもには少し重かったかなと感じました。「パンに塗って食べたら、そのまま食べるより美味くなるらしいから、楽しみにしててね」と、パンに塗って食べる日を楽しみにできるような言葉をかけて見守りました。

その後、花ごとに味と感触の感想を聞いていきましたが、ほぼすべてに対し、「すっぱい」という子が多く、面白い結果に。個人的には、アカシアとハゼが似たようなさっぱりとした味わいで、レンゲは最も濃厚な味、くりは少し独特な甘さで、百花はその名の通り、あらゆる物が混ざっているような甘さと濃厚さがあって感じます。

そんな食べ比べを通して、降園前、一人一人にパンに塗る蜂蜜は何が良いか聞いていったところ、レンゲとくりが比較的多い印象でした。たくさんの違いに気付けた1日だったのではないかと思います。



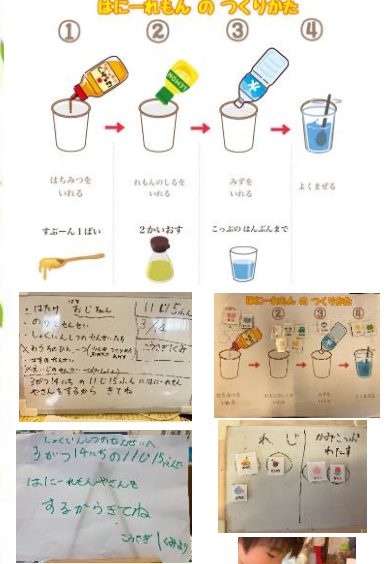
## 蜂蜜をパンに塗って食べよう！

ついにパンの日がやってきました！自由活動中に、最初にかけた蜂蜜の種類を決めてもらいました。意外にも先日の食べ比べ後に聞いた結果ほど偏りは見られず、それぞれ迷いながらも好きな蜂蜜を決めていました。

そして待ちに待った給食！お祈り後、すぐに食べ始めた子どもたちの反応は「ん〜♡ おいしいー！」「さーこー！」と満面の笑みや、グッドサインを出してくれる子がほとんど！食べ比べの時に顔をしかめていた子たちも、何度もおかわりに来て、味わう姿が見られました。私も頂きましたが、正直そのままの食べ比べの時よりも、違いがハッキリとわかったように感じます。

おかわりで味を変える子、毎回同じ味を試す子など、一人一人異なる反応が見られ、ついには初めてパンが全てなくなってしまうまで！話し合いを通して決まったパンに塗って食べることを実現でき、喜び溢れる素敵な時間となりました。

## 蜂プロジェクト 一年間のトピックウェブ



いらっしゃいませ！ハニーレモン屋さんです！

パンに塗って、蜂蜜は全てなくなるだろう.....と思っていたのですが、少し余ってしまいました。せっかくまだ残っているのなら、何かできないかと思い、再び子どもたちと話し合い。しかし、連日蜂蜜を食していたこともあり、「もう食べなくてもいい」という子も。そんな中で、交野山セットに入っていた紙を見てみると、ハニーレモンのレシピが書いてありました。その内容を伝え、「皆でハニーレモンのジュース屋さんするのはどう？」と聞くと、なんと全員が大賛成！

作ってお客さんに持って行くのか、こうさぎ1組さんのお部屋をお店屋さんにして、お客さんに来てもらうのか、どちらがいいか尋ねたところ、お部屋がいいとのことで、こうさぎ1組のお部屋でハニーレモン屋さんを行うことに決まりました。中には「飲んでみたい」という子もいたため、あくまでもハニーレモン屋さんをメインにし、飲みたい子は飲むという形で進めることに。

3学期も残り少なく、空いている日は話し合いの翌日のみ。1日で話し合いを完了させることは厳しいかと思いましたが、子どもたちの熱意や、これまでの話し合いや取り組みを積み重ねたことで、話し合いはスムーズに進みました。

## ★誰に来てほしい？

まずは誰をお客さんに招きたいか。「畑のおじちゃん」「バスの先生」「職員室の先生」「お家の人」「英語の先生」など、様々に声が上がりました。しかし、空いている日は翌日のみであるため、お家の人や、英語の先生は急に明日来てと言われても、お仕事があるかもしれないという話をした結果、写真を見せたり、皆が作り方を覚えて、家で作ってあげようということになりました。

## ★係決め！

- さて、続いては係決めです。
- 1. 注文を聞き、紙コップを蜂蜜係へ渡す
  - 2. 蜂蜜をスプーン1杯入れる
  - 3. レモン汁を2プッシュ入れる
  - 4. コップの半分まで水を入れる
  - 5. 混ぜて渡す
  - 6. レジ係
- この中で、やりたいお仕事を選択し、取り組みました。

## ★必要な物は？

次は必要な物の準備です。「レジするならお金がいるじゃん！」との発言から、お金を作ったり、お金を入れる財布を廃材で作ったり、来てほしいお客さんに向けて招待状を書いたり、看板を作る子もいました。

## ★ハニーレモン屋さんに来てね！

何とかその日中に準備ができ、皆でお金と招待状を持って職員室へ！ 「ハニーレモン屋さんを作るからきてねー！」と皆でお伝えしたあと、前回同様、様々に質問されました。1日で話し合いを進めたこともあり、どの程度理解して説明できるのか心配していましたが、多くの子どもたちが作り方や、どこで行うか、いつするのかを既にしっかりと覚え、一生懸命説明する姿に、本当にこの一年で大きく成長したと、心の底から感動しました。

## ★翌日！飲んでみよう！

翌朝の自由活動中や集い後に、一人一人自分でハニーレモンを作ったり、お客さんになってお友達に作ってもらいました。飲みたい子だけ飲むという形だったため、飲まない選択をする子は紙コップだけ持って、皆で乾杯！ 「おいし〜い！」「ちょっとすっぱーい！」「おうちのよりおいしい！」「もっとのみたーい！」など、大喜びな姿もたくさん見られました。

## ★いらっしゃいませー！

そしてついにお店が開店！ 開店前からこうさぎ1組の前に並んでいたお客さんたちが、次々に入ってきました。皆で大きな声で「いらっしゃいませー！」と迎え入れます。お勧めを聞いたり、以前の食べ比べで作った表を見て決めるお客さんたちの対応も、楽しみながら、各々お仕事を全うしていました。レジのお友達も、「100円でーす！」「1000円でーす！」「3000円でーす！」など、ごっこ遊びのやり取りを楽しんでいる様子。実際に飲んだお客さんに「美味しかったよ！」と言ってもらえた子どもたちは、非常に喜んでいました♪

お客さんが一段落した頃、「ともこ先生とかよ先生もお客さんになったら？」と言ってくれる子が！自分たちが話し合いを通して買いに行き、存分に味わった後は、他者と共有して喜び合うことができるようさぎ1組さんは、本当に優しく温かい、素敵な子どもたちだと感じました。大好きな人たちに来てもらえ、お店屋さんを楽しめた子どもたち。これにて1年間に渡る蜂プロジェクトは閉幕となりましたが、きつとこの1年間で、たくさんの思い出や遊びを通して学びを得ることができたのではないかと思います。「たくさん話し合いをして、皆で決めたから、こんなに楽しいことができたんだよ。こぼとさんになってからも、たくさん話し合いをして、わくわくするような楽しいことを、いっぱい見つけていってね」

子どもたちに実際に伝えた言葉です。こうさぎ1組で培った気づきや発見が、子どもたちのこれからは繋がるよう、願っています。

